

◆◆「新しい川崎」メール版◆◆

—2024年8月13日第137号—

<目次>

●補聴器助成を実現する会を結成！

■中原区の等々力緑地を守ろう！

▲お知らせコーナー

① 8/25 社会教育を考える川崎の会・報告と講演会

② 8/29「平和を願う灯ろう流し」

③ 8/30

③ 9/14 ゆめシネマ「福田村事件」

④ 9/16「萩坂昇生誕100年・語りつごう！かわさきのむかし話」

⑤ 10/27 ゆめシネマ「〇月〇日、区長になる女」

★編集後記

●補聴器助成を実現する会(略称川崎みみの会)を結成！

<難聴の放置は危険です>

難聴の放置は単にコミュニケーションが困難になるということだけでなく、多くの医療関係者が認知症やうつ病発症の原因になると指摘しています。

私たちが元気に生き生き暮らしていくうえでも、放っておけない大事な問題なのです。

しかし、この日本では難聴の問題を医師に相談する人の割合が、外国に比べると低いといわれています。

外国では「耳が聞こえにくい」と感じた人が医者に掛かる割合は50%～80%と言われているのに、この日本では38%とされています。

川崎市社保協が行ったアンケートでも一番多いのが「補聴器はいつ頃着ければいいのか」という質問でした。

中には、「耳が聞こえづらくなった人が、家族に相談したところ、まだ、早すぎると言われた」という人もいました。

私たちが開いた「難聴問題入門講座」で講師をされた言語聴覚士の杉原恵子先生は、「しばらく様子を見るということではなく、まず、耳鼻科を受信しましょう」と明確にお答えになりました。

「聴力検査」が必要であり、また、補聴器は辛抱強く慣れていく必要があるからです。

そのためにも、気軽に「補聴器人生」を迎えていくためにも、購入時の助成制度が絶対必要だと考えています。

自治体が高齢者に寄り添う姿勢こそ大切ではないでしょうか。

<補聴器助成を実現する会の結成へ>

8月1日、補聴器購入助成制度の創設を求めて、この川崎市に「補聴器助成を実現する会」を結成しました。

結成の中心を担ったのは、5月18日から始まった「難聴問題入門講座」(連続3回)を行った、年金者組合川崎支部協、川崎市社保協、川崎医療生協の3者の実行委員会でした。

この入門講座参加者に結成を呼び掛け、当日は、10名が「かわさきゆめホール」に集まり、相談会を行って結成されました。

全国で300近い自治体で実現している補聴器購入助成制度の創設を、この川崎市でも実現させようと、今後の取り組みとして、川崎市の担当者との懇談、川崎市議会の会派要請、医師会や老人会との懇談、施設見学、署名の取り組みなどを行うことを申し合わせました。

また、会の名称は「補聴器助成を実現する会」とするものの、身近に感じてもらうためにも略称を設けようと【川崎みみの会】とすることも決定されました。

近じか会長になっていただく人をお願いしようとなり、事務局として、光野正洋(事務局長)、坪井盛治(事務局次長)、鷲北栄治(事務局次長)、名古屋修(事務局次長)としてスタートしました。

当面、川崎市の担当者との懇談会、次回の会議を9月9日(月)午後2時から「ゆめホール」で行うこととしました。

補聴器助成を実現する会の連絡先は以下です。

川崎市川崎区藤崎 4-21-1-3F

TEL044-266-7532

FAX 044-287-1570

(補聴器助成を実現する会ニュース創刊号より転載)

■ 中原区の等々力緑地を守ろう！

<等々力緑地の緑が危ない！>

春はお花見、夏はプール遊び、緑の園路の散策や犬の散歩、子どものボール遊びやサッカーの練習などなど、等々力緑地は多くの市民が憩いの場として親しんできました。

ところが川崎市が緑地の管理運営を民間の企業に引き渡したことに依り、公園が大きく様変わりし始めています。

芝生広場に車を乗り入れてオートキャンプを始める。

桜の園にいっぱい車を入れ花見も出来ない有様にビックリ。

6月にとどろきパーク株式会社が開いた住民説明会では、もっと驚く内容が明らかになりました。

公園園路の付け替えや物販施設の建設などで、数百本の樹木が伐採されることが明らかになったのです。

<緑地を守ろう！住民の声が広がる>

住民から緑を切らないで！地球温暖化対策に逆行する行為は認められない！の声が上がっています。

また、テニスコートや催し物広場など市民が日常的に一番利用している一等地に立体駐車場を建設する。さらに空いている広場に物販店や娯楽施設などを17カ所も建設するなど、事業者が公園を利益追求の場として最大限に活用しようとしていることが明らかとなってきました。

6月25日に住民らが集まり公園の緑と憩いの広場を守ろうと、「等々力緑地を守る会」(仮)を結成し樹木調査などに取り組み始めています。

また、8月2日には、川崎市の等々力緑地準備室との懇談を行い、11名が参加しました。

<樹木調査の中間報告>

[実施日]

① 8月5日 5名参加で、テニスコート、藤棚・遊具エリアを調査実施

② 8月8日 4名参加で、催し広場エリアを調査実施

[調査資料 川崎市の等々力緑地の樹木調査(2014年)]

・川崎市から過去に実施した樹木調査資料を入手。

・資料はとどろき緑地の南側のみで、アリーナから北側(ふるさとの森、四季園、21世紀の森)は未調査。

・この10年間の大きな変化は、緑地正面、噴水広場、プールの廃止、野球場の移動などがありました。

このエリアですでに700本近い樹木が伐採されています。

<今回の樹木調査の中間まとめ>

①テニスコート133本

北側 (30本)

西端 (6本)

南側 (97本)

ヒマラヤ杉70本、

イチョウ34本、

杉2本、梅1本、

カエデ1本、

ツバキ 2 本

松 12 本、

エノキ 1 本、

低木 11 本

②管理事務所・遊具 34 本

ケヤキ 12 本、

メタセコイヤ 2 本、

しだれ桜 2 本、

ヤマモモ 3 本、

プラタナス 2 本、

藤 2 本

デイゴ 2 本、

サワラ 3 本、

ボケ 1 本、

キンモクセイ 3 本、

月桂樹 1 本、

ザクロ 1 本、

③ 催しもの広場 79 本

西側(37 本) 東側(33 本) 北側(9 本)

桜 36 本、

ケヤキ 29 本、

イヌシデ 2 本、

ハナミズキ 2 本、

シラカシ 1 本

クスノキ 8 本、

ヤマモモ 1 本

※ 3エリアの樹木の数は合計 246 本でした。

その内伐採される可能性のある樹木は 149 本になります。

<等々力緑地を守るための相談会を開きます>

8月16日に等々力緑地を守る会(仮)は、今後の運動の進め方の相談会を開きます。

ここでは、8月2日の川崎市等々力整備室との懇談の報告や、樹木調査の報告も行います。

場所は、等々力児童会館です。

連絡先 橋本稔(090-5401-0633)

★お知らせコーナー

①「社会教育を考える川崎の会」の活動報告&竹信三恵子さん 講演

『指定管理者制度と非正規労働者』『官製ワーキングプアの日本の実態は?』

8/25(日)14時~16時半

多摩市民館 3階大会議室

資料代:500円

問合せ

haz30210@gmail.com

準備の都合上、なるべく事前申し込みをお願いします。

主催:社会教育を考える川崎の会

詳しくはこちら

②第12回「平和を願う灯ろう流し」

8/29(木)(雨天翌日)

17時～19時

川崎市平和館&二ヶ領用水

問合せ:090-1844-8233(清水)

主催「平和を願う灯ろう流し」実行委員会

詳しくはこちら

③川崎市ふれあい館 人権尊重学級

「人権尊重の未来を拓く」(3回)

会場:川崎市ふれあい館

川崎市川崎区桜本 1-5-6

8/30(金) 18:30

講師:安田浩一さん

9/20(金) 18:30

講師:中村一成さん

10/25(金) 18:30

講師:山岸素子さん

参加費無料:定員になり次第締め切り

メールまたは電話で申し込み

fureaikan@seikyu-sya.com

044-276-4800

主催:川崎市ふれあい館

川崎市教育委員会

詳しくはこちら

④多摩川水害川崎裁判口頭弁論

9/5(木)14:30 開廷

14 時より事前集会

横浜地方裁判所・川崎支部 1 号法廷

主張のやりとりから立証段階へ。

多数の傍聴をお願いします。

くわしくはこちら

④ゆめシネマ「福田村事件」

9/14(土)

①9時 ②12時 ③15時 ④18時

場所:かわさきゆめホール

前売予約:1,000 円

当日:1,500 円

障がい者・学生以下:500 円

お申し込み:044-433-3003 ゆめホール

cinema@kawasakiyume.com

主催:ゆめホールシネマ倶楽部

詳しくはこちら

公式サイト

⑤【川崎市制・萩坂昇生誕】どっちも 100 年！

語りつごう！かわさきのむかし話

9/16(月・祝)11時～17時

中原市民館:2階ホール

予約不要、当日参加OK、途中の出入り自由

問合せ:044-935-0313/090-6707-2488(萩坂心一)

主催:かわさき民話を愛する会

詳しくはこちら

⑥ゆめシネマ「〇月〇日、区長になる女。」

「川崎民主市政をつくる会」との共催決定!

10/27(日)

①9時 ②12時 ③15時 ④18時

③15時の回のみペヤンヌマキ監督アフタートーク

場所:かわさきゆめホール

前売予約:1,000円

当日:1,500円

障がい者・学生以下:500円

お申し込み:044-433-3003 ゆめホール

cinema@kawasakiyume.com

主催:ゆめホールシネマ倶楽部

公式サイト

★編集後記

東京都知事選挙に彗星のごとく現れ、蓮舫氏を超える票を獲得した前広島県安芸高田市長の石丸伸二氏に注目が集まっています。

蓮舫氏より支持を集めた理由は、10代から20代を中心とした若年層の支持を集めたためとみら

れます。

YouTubeの「切り抜き動画」をはじめとする、SNSでの露出度の高さはずば抜けていました。

しかし、ならばと政策を見れば公約の3本柱として打ち出した「政治再建」「都市開発」「産業創出」の中身のうすっぺらなこと。

地方自治体が果たすべき「住民の福祉の増進を図ること」は眼中に無く、おめでたいエコノミックアニマルにしか見えません。

彼の言う、「ばらまき政策の一掃」とは福祉の切り捨てであり、教育が「最も成長する分野」として子どもを食い物にする教育産業発展に力を注ぐと言います。

「石丸構法」がもてはやされています。

特に誰かからの質問に対して“返り討ち”をするような独特の言い回し。

質問には答えず、高飛車に逆質問し、相手が言葉に詰まると、勝ち誇った顔をする。

実は何も答えておらず、論争に勝利したわけでは無いのに・・・です。

それが若者達にはかっこよく見えたのでしょう。

選挙が終わって、少しずつ化けの皮が剥がれてきている気がします。

2022年、彗星のごとく現れて杉並区長に当選した岸本聡子さん(50)の選挙は真逆と言っても良い。

地球環境に取り組んで海外で仕事をしていたものの、一時帰国したところに白羽の矢が立ち、帰国から1ヶ月足らずで立候補を決意します。

岸本氏は立憲民主党、日本共産党、れいわ新選組、社民党、杉並・生活者ネットワーク、緑の党グリーンズジャパン、新社会党などの推薦を得て立候補。

187票差という僅差で当選を勝ち取りました。

保守の分裂と言うことで漁夫の利を拾った印象はありますが、野党の連帯で勝ち取った闘いには学ぶことが多い。

10月27日(日)ゆめシネマ「〇月〇日区長になる女」はそんな女性と住民の闘いを追いかけた映画です。

川崎民主市政の会との共催となりました。

来年の市長選挙に向けて、学ぶものがあるはず。(Y)

☆☆チェンジかわさき！☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

mailmag@newkawasaki.jp

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆チェンジかわさき！☆☆

配信を希望されない方は以下をクリックしてください。

自動的に登録を解除します。

https://my922p.com/User/cancel_mail/fMwwpqj4/evjFtYUYbEHW?mail=talosxxx%40gmail.com

誤って登録解除した場合、以下までご連絡ください。

mailmag@newkawasaki.jp